

2 基本施策（2）学校・家庭・地域が連携した体制の構築

- ①地域ぐるみで子どもを育む体制づくり
- 取組事業 ②地域で学校を支援する体制づくり
- ③家庭教育の向上に向けた支援

＜今後の方向性＞

- PTAなどの社会教育関係団体と連携を図りながら、放課後子ども教室や成田わくわくひろばなどの開催を通して、地域の多様な人材の参画を促し、子どもたちの健やかな成長を地域ぐるみで支える体制をつくります。
- 学校支援地域本部の取組を推進し、地域コーディネーターを中心として、地域が参画するボランティア組織などによって学校を支援する体制をつくります。さらに、地域力を学校運営に生かす「地域とともにある学校づくり」を目指すため、コミュニティ・スクールの設立を推進します。
- 家庭教育学級での活動を通して、親としての必要な心構えや知識・技能を身につけ、家庭の教育力の向上を図ります。



家庭教育学級

<主な実施事業>

事業名	取組内容	担当課
放課後子ども教室推進事業	放課後や週末等に小学校の余裕教室や校庭等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域や国際医療福祉大学などの参画を得て、子どもたちとともに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を行います。	生涯学習課
子どもの居場所づくり推進事業	市内の小学生を対象に、地域の参画を得て、子どもたちが遊びや学習を通して交流できる場と様々な体験活動を行う機会をつくります。	生涯学習課
学校支援地域本部事業	学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育て、学校を支援する体制をつくります。	生涯学習課
家庭教育学級開催事業	望ましい保護者のあり方や子どもに対する教育の資質を高めること、保護者同士が「つながる」ことを目的として、家庭教育学級を開設します。	生涯学習課

<重点目標>

指標名	実績 令和元年度 (2019)	目標 令和7年度 (2025)
家庭教育学級参加者数	10,028人	10,700人
学校支援のための地域コーディネーター数	14人	29人